

## 5 単元構想計画 Unit7 This is for you.

関係する領域別目標

「聞くこと」ア

ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。

「話すこと」(やり取り)ウ

サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

### (1) 単元の目標

相手に喜んでもらえるカードを作成するために、相手の発話に反応しながら必要な形や色など欲しいものを尋ねたり答えたりすることができる。

### (2) 単元における評価規準

単元における重点となる「つけたい力」 「話すこと」(やり取り)ウ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	相手に喜んでもらえるカードを作成し、紹介するために、色や形、数など、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	相手に喜んでもらえるカードを作成し、紹介するために、色や形など、相手に伝わるように欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

### (3) 単元構想図 (全5時間)

※ 網掛けは、評価したことを記録に残す場面。

#### Unit6 までの用語・語句

Hello. See you.  
How are you?  
I'm ○○.  
How many?  
色, 数 (1~20)  
Here you are.  
Thank you  
That's right.  
I like ○○.  
Do you like ○○?  
Yes, I do./No, I don't.  
I don't like ○○.  
What (color) do you like?  
etc

#### ① 【Unit Goal に向けた見通し, シェイプクイズ, ポインティングゲーム】

Goal: 身の回りのものや形の言い方を知ろう。

P.26.27 【Let's Play1】 [シルエットを見て、何が隠れているか考える。]

P.28 【Let's Watch and Think】 [カードに記された絵や文字から、それらが何のカードなのかを考える。]

「相手に喜んでもらえるカードを作りたいな。だから、欲しいものを聞く表現や形の言い方を知りたい。ジェットコースターは英語では違う言い方をすることを知った。カタカナだけど、英語ではないことが分かっておもしろかった。」

<見届けの視点> 【知・技】 聞くこと ア (行動観察, 振り返りシート)

「日本語と英語の音声の違いに気付いているか」

単元で働かせる見方・考え方  
仲間の関わり方に着目することで、相手に配慮したコミュニケーションの仕方を考える。

Unit Goal: 相手に喜んでもらえるカードを作り、相手に伝わるように工夫しながら自分の作ったカードを紹介しよう。

#### ② 【様々な形を組み合わせて、形づくり】

Goal: 何がほしいか、たずねたり答えたりしよう。

P.28 【Let's Watch and Think】 [映像資料を見て、気持ちを届けるために様々なカードがあることを知り、単元の終末活動への意欲を高める。]  
「世界には、いろいろなカードがあることを知った。次は、友達がどんなカードが欲しいか聞くのが楽しみ。」

<評価規準> 【知・技】 話すこと (やり取り) ウ (行動観察, 振り返りシート)

「形の言い方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり答えたりしているか」

#### ③ 【どんなカードが欲しいか、相手にインタビュー】

Goal: 相手がどんなカードがほしいかたずねたり、答えたりしよう。

P.29 【Let's Listen】 [音声を聞いて、誰がどの作品を作ったのかを考えて線で結ぶ。]

「What do you want?」を使って、相手がどんなカードが欲しいかを聞くことができた。次は、相手に喜んでもらえるカードを作るために必要な形を集めたい。」

<評価規準> 【思・判・表】 話すこと (やり取り) ウ (行動観察, 振り返りシート)

「相手に配慮しながら、コミュニケーションの仕方を考え、相手の発話に反応しながら何が欲しいかを尋ねたり答えたりして伝え合っているか」

#### ④ 【パーツショップ】 本時

Goal: 相手によるこんでもらえるカードを作るために、くふうしてほしいものをたずねたり答えたりしよう。

P.29 【Activity】 [カードを作るのに必要なパーツを集めて、形を作る。]

「お店の時は、ほしいものを聞きとれなかったけど、○○さんがジェスチャーを使ってくり返して言ってくれたから、聞きとれた。お客さんの時は、自分もジェスチャーをして必要な形のカードを手に入れることができた。次は相手に伝わるようにゆっくり話すことや、相手が話すときに反応しながら聞くことをがんばりたい。」

<評価規準> 【思・判・表】 話すこと (やり取り) ウ (行動観察, 振り返りシート)

「相手に配慮しながら、相手に喜んでもらえるカードを作成し、紹介するために、色や形、数など、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っているか」

#### ⑤ 【カード紹介】

Goal: 相手に伝わるようにくふうして、自分の作ったカードをしょうかいしよう。

P.29 【Activity】 [相手のために作ったカードを、相手に伝わるように工夫しながら仲間に紹介する活動を行う。]

「カードを見せながら、大事なところを強く言ったり、「OK?」と確認したりしながら紹介することができた。相手の話を聞くときに、反応することができた。カードを渡したときに、相手によるこんでくれたからうれしかった。」

<評価規準> 【態度】 話すこと (やり取り) ウ (行動観察, 振り返りシート)

「相手に伝わるように工夫しながら、自分が作ったカードを紹介することで伝え合おうとしているか」

#### Unit7 言語材料

What do you want?  
(A star), please.  
This is for you.  
Here you are.  
Thank you  
big/small.  
形(square, rectangle, star,  
diamond, heart)  
色(pink, yellow, green, red  
blue, brown...)  
数(1~20)

What do you want? を使えば、相手が欲しいものを聞くことができることが分かった。友だちが欲しいカードに合ったパーツを集めてカードを作ることができた。大事なところを強く言ったり、相手の反応を確認したりして、自分が作ったカードを仲間に紹介することができた。自分が相手のために作ったカードを渡したときに、よこんでくれたからうれしかった。これからも、相手に伝わる工夫をしながら話すことや、反応をしていきたい。

6 本時のねらいと展開 (第4/5時)

本時のねらい	相手に喜んでもらえるカードを作成するために、仲間との関わり方に着目し、相手に配慮したコミュニケーションの仕方を考えながら、欲しい色や形を尋ねたり答えたりすることができる。																
指導過程	学 習 活 動	教師の指導															
自己の追究	1 Greeting Time ・“Good morning song”で学級の仲間とあいさつを交わす。 2 Song Time ・Chants “What do you want?” 3 Today’s goal 【Goal】相手によるこんでもらえるカードを作るために、くふうしてほしいものをたずねたり答えたりしよう。	・3つのコミュニケーションポイント (eye contact, clear voice, smile) を確認し、楽しく交流する雰囲気づくりをする。 ・「相手に欲しいものを聞くときの言い方は。」と問い、「What do you want?」の言い方を確認する。 ・「相手に分かりやすく伝えるために、自分がした工夫、仲間がしていた工夫について教えてね。」と問い、活動の視点を与える。															
	4 Activity Time ・パーツショップで、欲しい色や形を手に入れる。 <table border="1" data-bbox="260 719 1021 913"> <thead> <tr> <th>A (お店)</th> <th>B (お客さん)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hello.</td> <td>Hello.</td> </tr> <tr> <td>What do you want?</td> <td>A pink heart, please.</td> </tr> <tr> <td>How many?</td> <td>Two, please.</td> </tr> <tr> <td>Here you are.</td> <td>Thank you.</td> </tr> </tbody> </table>	A (お店)	B (お客さん)	Hello.	Hello.	What do you want?	A pink heart, please.	How many?	Two, please.	Here you are.	Thank you.	<b>こだわる</b> ・「相手に分かりやすく伝えるためには、どうしたらいいだろうか。」と問い、繰り返すことやジェスチャーを使うなどの工夫ができるように促す。(C→B) ・分かりやすく伝えるための工夫をしている児童に、「工夫をすることの良さは何だろうか。」と問い、相手に配慮したコミュニケーションをする良さを考えさせる。(B→A)					
A (お店)	B (お客さん)																
Hello.	Hello.																
What do you want?	A pink heart, please.																
How many?	Two, please.																
Here you are.	Thank you.																
仲間との練り合い	<b>Welcome Time 【深い学び】</b> <深めの働きかけ> お客さん側「欲しいものをさらに分かりやすく伝えるためには、どうしたらいいだろうか。 表現方法：くり返す、強く言う、色を言った後に間をあけて言う、はっきり、ゆっくり伝える、ジェスチャーを使う 表現内容：OK? (相手の理解を確かめる) Good. Nice. (相手が言ったことに反応する) ・お店側も同じような視点でつなげて考えられるようにする。	<b>【深い学び】</b> <b>Welcome Time において、前半の活動を振り返り、表現内容や表現方法で困ったこと、仲間の良さ等を共有する。本時のねらいに近づいている児童を取り出し、後半の活動への意欲付けをする。</b>															
	・パーツショップで、欲しい色や形を手に入れる。 <table border="1" data-bbox="260 1335 1021 1682"> <thead> <tr> <th>A (お店)</th> <th>B (お客さん)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hello.</td> <td>Hello.</td> </tr> <tr> <td>What do you want?</td> <td><u>A pink (間をあけて) heart,</u> please.</td> </tr> <tr> <td><u>Pink heart. OK?</u></td> <td>OK.</td> </tr> <tr> <td>How many?</td> <td>Two, please.</td> </tr> <tr> <td><u>Two. OK?</u></td> <td><u>OK. Good.</u></td> </tr> <tr> <td>Here you are.</td> <td>Thank you.</td> </tr> <tr> <td>See you.</td> <td>See you.</td> </tr> </tbody> </table>	A (お店)	B (お客さん)	Hello.	Hello.	What do you want?	<u>A pink (間をあけて) heart,</u> please.	<u>Pink heart. OK?</u>	OK.	How many?	Two, please.	<u>Two. OK?</u>	<u>OK. Good.</u>	Here you are.	Thank you.	See you.	See you.
A (お店)	B (お客さん)																
Hello.	Hello.																
What do you want?	<u>A pink (間をあけて) heart,</u> please.																
<u>Pink heart. OK?</u>	OK.																
How many?	Two, please.																
<u>Two. OK?</u>	<u>OK. Good.</u>																
Here you are.	Thank you.																
See you.	See you.																
自身の学びの自覚	5 Comment Time 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             お店の時は、ほしいものを聞きとれなかったけど、〇〇さんがジェスチャーを使ってくり返して言ってくれたから、聞きとれた。お客さんの時は、自分もジェスチャーをして必要な形のカードを手に入れることができた。次は相手に伝わるようにゆっくり話すことや、相手が話すときに反応しながら聞くことをがんばりたい。           </div> ・EAS と担任、それぞれの観点で評価を聞く。	<b>評価規準【思考・判断・表現】</b> <b>行動観察から、「相手に配慮しながら、相手に喜んでもらえるカードを作成し、紹介するために、色や形、数など、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っているか」を評価する。</b>															
	6 Goodbye Time ・終わりのあいさつをする。																